

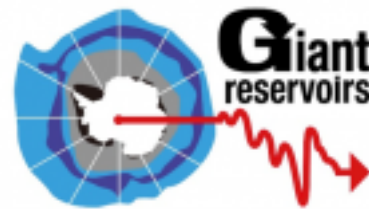
第3回南極若手勉強会

～ 科研費申請に向けて～

開催日時

令和元年 8月22日（木）～ 8月25日（日）

13:30 集合



場所

東京大学柏キャンパス **総合研究棟270号室**（※大気海洋研究所ではありません）

<アクセス>

つくばエクスプレス線柏の葉キャンパス駅 or JR常磐線柏駅より、バス

・東大シャトルバス 時刻表 <https://www.k.u-tokyo.ac.jp/gsfs/shuttle-bus.html>

来訪者は行き先を告げると、無料で利用できます。

・東武バス 「国立がん研究センター」 行き/経由の路線ならどれでも可。

「国立がん研究センター」で降りれば、総合研究棟は目と鼻の先です。

<施設情報>

平日の18:00-翌8:00及び休日は、オートロック施設されます。 出入りの際は、総合研究棟在籍の人間に一声おかけください。

Wi-Fi環境

eduroamのアカウントを事前に取得しておいてください。

上記を取得できない方は、東大のゲストWi-Fiを使用してください。

(接続時に携帯電話番号の登録が必要です)

もちもの

ノートパソコン（プレゼンには、一般的なVGA端子が使用できます）

筆記用具など

事前に印刷したいものがあれば、お気軽に木野までご連絡ください。

Suica等（食堂で使えます。多めにチャージしておくことを強くお勧めします）

宿泊先

各自で手配してください。万が一見つからない場合は、東大柏の誰かにコンタクトしてみてください。

世話人（幹事）

松井浩紀（古海洋班、高知大学・特任助教） hmatsui@kochi-u.ac.jp

石輪健樹（固体班、国立極地研究所・PD） ishiwa.takeshige@nipr.ac.jp

木野佳音（モデル班、東京大学大気海洋研究所・D2） kanon@aori.u-tokyo.ac.jp

緊急連絡先: 090-6570-4431 (松井)

全体の進行表

第1部 @ 東大柏

8月22日(木)

13:00	受付開始
13:30	IPCC 1.5報告書読み合わせ
17:30	休憩
18:30	意見交換会

8月23日(金)

9:00	集合
9:00	科研費の概要把握
9:50	休憩
10:00	科研費申請計画発表
12:00	昼食
13:30	科研費申請計画発表
14:50	休憩
15:00	申請書類作成
18:00	解散

8月24日(土)

9:00	集合
9:00	科研費申請書の読み直し
12:00	昼食
13:30	科研費申請書の読み直し
15:20	休憩
15:30	研究発表(希望者)
17:00	解散

第2部 @ 東大駒場(任意参加)

8月25日(日)

10:00	東大駒場キャンパス正門前
	集合
10:00	博物館見学
13:00	解散

IPCC1.5報告書読み合わせ

※発表時間目安(分) ≙ 担当総ページ数×0.6として算出。<https://www.ipcc.ch/sr15/>

訳: HM

担当者		第2章：持続可能な発展を踏まえた1.5° Cと整合的な排出削減経路 Mitigation Pathways Compatible with 1.5° C in the Context of Sustainable Development	
原田	2.1	削減経路の紹介, 持続可能な開発の背景	Introduction to Mitigation Pathways and the Sustainable Development Context
原田	2.2	地球物理学的関係と制約	Geophysical Relationships and Constraints
石野	2.3	1.5° Cの削減経路の概要	Overview of 1.5° C Mitigation Pathways .
シェリフ	2.4	全システム変革(2.3)の詳細	Disentangling the Whole-System Transformation
シェリフ	2.5	変革的削減経路の課題, 機会, 影響	Challenges, Opportunities and Co-Impacts of Transformative Mitigation Pathways .
シェリフ	2.6	不足している知見	Knowledge Gaps

13:30-

担当者		第3章：1.5° C上昇の自然と人間システムへの影響 Impacts of 1.5° C of Global Warming on Natural and Human Systems	
高柳	3.1	第3章について	About the Chapter
高柳	3.2	1.5°C以上の温度上昇リスクをどう評価するか	How are Risks at 1.5° C and Higher Levels of Global Warming Assessed in this Chapter?
高柳	3.3	グローバルや地域の気候変動とそれに伴う危機	Global and Regional Climate Changes and Associated Hazards .
小林	3.4	自然と人間システムに対して観測された影響と予測されるリスク	Observed Impacts and Projected Risks in Natural and Human Systems
小坂	3.5	2°C上昇と比較して1.5°Cで軽減できる影響とリスク	Avoided Impacts and Reduced Risks at 1.5° C Compared with 2° C of Global Warming
小坂	3.6	1.5° Cと2° C上昇で排出削減経路が異なる意味	Implications of Different 1.5° C and 2° C Pathways
小坂	3.7	不足している知見	Knowledge Gaps

14:30-

担当者		第4章：国際的対応の強化と実施 Strengthening and Implementing the Global Response	
石輪	4.1	気候変動に対するグローバル対応を加速する	Accelerating the Global Response to Climate Change
石輪	4.2	1.5° Cと整合的な削減経路：実行を進めるための起点	Pathways Compatible with 1.5° C: Starting Points for Strengthening Implementation
石輪	4.3	1.5°Cと整合的な削減経路へ求められるシステム変化	Systemic Changes for 1.5° C-Consistent Pathways
小長谷	4.4	大規模かつ急速な変化の実行	Implementing Far-Reaching and Rapid Change
小長谷	4.5	統合, そして変革の実現	Integration and Enabling Transformation
小長谷	4.6	不足している知見と不確実な要素	Knowledge Gaps and Key Uncertainties

15:50-

担当者		第5章：持続可能な発展、貧困撲滅と不平等の軽減 Sustainable Development, Poverty Eradication and Reducing Inequalities	
松井	5.1	第5章の範囲と説明	Scope and Delineations
松井	5.2	1.5°C世界の貧困, 平等そして公平	Poverty, Equality and Equity Implications of a 1.5° C Warmer World
松井	5.3	気候適応と持続可能な開発	Climate Adaptation and Sustainable Development
松井	5.4	気候緩和と持続可能な開発	Mitigation and Sustainable Development
松井	5.5	1.5°Cへの持続可能な開発経路	Sustainable Development Pathways to 1.5° C .
松井	5.6	1.5°C世界で持続可能な開発, 貧困根絶, 不平等解消を実現するための条件	Warmer Worlds
松井	5.7	第5章の統合, 不足している研究	Synthesis and Research Gaps

17:00-

-17:30